

北海道

Hokkaido Tourism Organization

観光レポート

2021年
令和3年12月20日発行

冬号



10月の来道者数は、今年の中で
最も多い約63万4千人を記録。

トピックス アドベンチャートラベル・ワールドサミット(ATWS)2023の開催地が北海道に内定

編集コラム 滞在型観光からワーケーションの推進へ

■お知らせ

北海道観光振興機構広報誌『HTOプレス』は、前回の秋号より、内容を刷新し「北海道観光レポート」と名称を変更して、皆さまに情報をお届けしています。(発行回数はこれまでと同様の年4回(春・夏・秋・冬)で変更ございません。)

北海道の延べ宿泊者数実績

2021年9月

○北海道の2021年(令和3年)9月の延べ宿泊者数は、159万人泊、前年同月比-33.0%(2019年同月比-51.1%)であった。

○9月の日本人延べ宿泊者数は158万人泊、前年同月比-33.1%(2019年同月比-43.9%)であった。8月27日に発令された緊急事態宣言により、前年及び2019年同月を大きく下回る結果となった。

○外国人延べ宿泊者数は、5千人泊、前年同月比+21.4%(2019年同月比-96.7%)となり、前年同月を上回ったものの、2019年同月からは大きく下回っており、依然として厳しい状況が続いている。

○月別の推移では、道外居住者(外国人を除く)は7月が87万人泊(前年同月57万人泊)、8月が97万人泊(前年同月86万人泊)と前年を上回ったが、9月は70万人泊(前年同月94万人泊)となり、前年を下回った。一方、道内居住者は、7月が104万人泊(前年同月106万人泊)、8月が110万人泊(前年同月135万人泊)、9月が82万人泊(前年同月132万人泊)となり、どの月も前年を下回った。

○2019年同月比の推移は、全体では7月、8月は-40%台であったが、9月は-50%を超え、半分に落ち込んでいる。

延べ宿泊者数データ(2021年9月第2次速報)

(単位:人泊)

	北海道			全国		
	全体	日本人	外国人	全体	日本人	外国人
2021.9	1,588,850	1,584,000	4,850	22,427,250	22,153,150	274,100
2019年同月比	-51.1%	-43.9%	-98.9%	-54.0%	-45.3%	-96.7%
前年同月比	-33.0%	-33.1%	-1.6%	-21.4%	-21.8%	+21.4%



出典:「観光庁宿泊旅行統計調査」をもとに当機構作成
注1:2021年は1月~9月の速報値。

来道者輸送実績

2021年10月

- 2021年10月の来道者数は約63万4千人となり、前年同月比-7.9%であった。国の支援事業「GoToトラベル事業」の実施により来道者が多かった前年同月よりも減少したが、8月27日に発令された緊急事態宣言が9月いっぱい解除されたことから、9月の45万人から改善され、今年一番の来道者数となった。
- 輸送機関別の来道者数は、航空機が54万4千人と全体の86%を占め、フェリーが5万5千人(9%)、JRが3万6千人(6%)であり、フェリーが前年同月を上回った。
- 発地空港別の来道者数は、関東が35万4千人と全体の65%を占め、次いで関西8万3千人(15%)、名古屋4万5千人(8%)、東北3万4千人(6%)となり、東北のみ前年同月を上回った。
- 着地空港別の来道者数は、新千歳・丘珠が43万6千人と全体の80%を占め、次いで函館3万9千人(7%)、旭川2万1千人(4%)、帯広1万4千人(3%)、釧路1万3千人(2%)、女満別1万3千人(2%)となり、前年同月を下回ったが、稚内、紋別で前年同月を上回った。

来道者輸送実績(輸送機関別)

(単位:人)

	総数	航空機	JR	フェリー
2021.10	634,017	543,787	35,700	54,530
2019同月比	-46.1%	-47.6%	-49.7%	-21.0%
前年同月比	-7.9%	-7.7%	-25.3%	+5.8%

来道者数の推移



来道者輸送実績(発地空港別)

(単位:人)

	東北	関東	北陸・信越・東海	名古屋	関西	中国・四国	九州・沖縄
2021.10	33,879	353,770	7,819	44,844	82,712	1,186	19,577
2019同月比	-49.4%	-47.9%	-64.4%	-43.5%	-41.7%	-91.3%	-42.1%
前年同月比	+2.0%	-5.7%	-3.9%	-15.5%	-13.4%	-73.7%	-1.0%

来道者輸送実績(着地空港別)

(単位:人)

	新千歳・丘珠	函館	旭川	帯広	釧路	女満別	稚内	紋別	中標津
2021.10	436,245	38,876	21,236	13,989	13,473	13,335	2,639	2,322	1,672
2019同月比	-47.3%	-42.6%	-55.0%	-53.2%	-47.4%	-46.9%	-51.0%	-43.1%	-61.3%
前年同月比	-7.4%	-15.5%	-6.0%	-7.1%	-7.4%	-13.3%	+12.0%	+4.0%	-

出典:「北海道観光振興機構来道者輸送実績調査」をもとに作成。

今号の注目!

北海道来訪者の事前の期待度と満足度はどれくらい?

2020年度の道外客の事前の期待度と実際の満足度について、「食事」を除く分野で事前の期待度よりも満足度が高かった。

特に「アウトドアアクティビティ」、「全般的な接客(おもてなし)」、「交通」が差が大きい状態であった。

一方、「食事」は唯一マイナスとなったが、男女別では男性は期待度よりも満足度が高く、女性に低い傾向が見られ、女性の食事への事前期待度が大きい。

道外客の事前期待度と満足度スコア



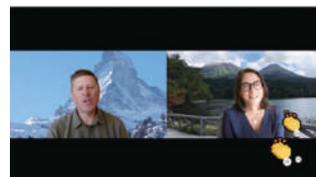
出典:「北海道観光振興機構 2020(令和2)年度北海道来訪者満足度調査」をもとに作成

アドベンチャートラベル・ワールドサミット (ATWS)2023の開催地が北海道に内定

アドベンチャートラベル・ワールドサミット・バーチャル北海道／日本(ATWS北海道／日本 9月20日～24日)のクロージングセレモニーにおいて、米国の団体アドベンチャートラベル・トレード・アソシエーション(ATTA)のShanonStowell CEO, Casey Hanisko President より2年後の2023年に再び北海道でATWSを開催すると内定発表がありました。

発表後には、2年後が待ちきれないと参加者達から北海道を実際に訪れる機会が再び設けられたことを喜ぶコメントが多くありました。

2023年までの2年間でアドベンチャートラベル(AT)の体験プログラムが更に充実し、海外から訪れる多くのお客様が、北海道内のATコースを通じて、この北海道の自然・文化・歴史を学び楽しんでもらえることを期待します。



アドベンチャートラベル(AT)とは

「自然」・「文化体験」・「アクティビティ」の3つの要素のうち、2つ以上で構成される体験型の旅行形態の1つで、アクティビティを通じ、地域の自然・文化を体験することで、旅行者自身が新しい多様な価値観に触れ、自身の内面が変わっていくような旅行スタイルです。外国人からも人気が高く、長期滞在が見込まれ、観光消費額も大きいという特徴があり、自然・文化などの地域資源を活かせる重要な観光コンテンツです。

報告

アドベンチャートラベル・ワールドサミット・バーチャル北海道／日本 (ATWS北海道／日本) 2021年9月20日～24日

ATTAが主催するAT業界世界最大のイベントであるアドベンチャートラベル・ワールドサミット(ATWS)が、9月20日～24日の5日間(日本時間)に渡り開催されました。

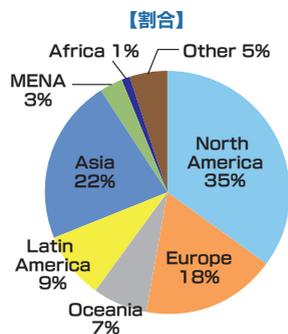
ATWSは2005年から毎年1回開催されており、今大会はATWSとして初のアジア開催、また初のオンライン開催となり、オンラインプラットフォームEventtia上にて、世界58か国より617名のAT関係者が参加しました。北海道を中心に日本各地の魅力あるATコンテンツが世界に発信されました。

参加者概要

イベント登録者数617人、参加国数58か国

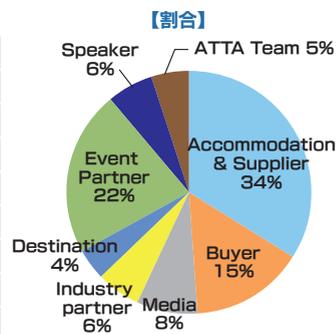
エリア別

	【参加者数】 (単位:人)
North America	213
Europe	112
Oceania	46
Latin America	53
Asia	136
MENA	21
Africa	7
Other	29
合計	617



業種別

	【参加者数】 (単位:人)
Accommodation & Supplier	208
Buyer	91
Media	52
Industry partner	40
Destination	22
Event Partner	137
Speaker	38
ATTA Team	29
合計	617



1 テーマ“共生”

ATWSでは、毎回異なる大会のテーマが掲げられます。ATWS北海道／日本でのテーマは、“共生”。人と自然が調和し互いに利益をもたらしながら生きることを意味するこの言葉をテーマに掲げました。アイヌの人々が、何千年の間自然を大切に、大小を問わず種が尊敬される場所として故郷北海道を守りながら体現してきた“共生”に注目し、今後何年にもわたって“共生”のバランスを維持する上でのアドベンチャートラベルの役割を探りました。アウトドアアクティビティだけでなく、自然保護や持続可能な開発目標 SDGsに関する様々な講演やグループ討論会が開催中行われました。



秋辺日出男氏 (阿寒アイヌ工芸協同組合専務理事)によるインタビュー

2 ATWS北海道／日本 実施プログラム

ATTAの拠点となる米国太平洋夏時間(PDT)を中心に、1日のプログラムをライブ放送と再放送に分け、4日間開催されました。

日本時間	米国太平洋夏時間	1・2日目 9月20日(月)・21日(火)	2・3日目 9月21日(火)・22日(水)	3・4日目 9月22日(水)・23日(木)	4日目 9月24日(金)
23:00 ～23:45	7:00 ～7:45	SUMMIT WELCOME 国土交通大臣・北海道知事挨拶 基調講演 OUR NAURE	基調講演 INSIGHTS INTERVIEW	基調講演 PASSIONATE PEOPLE-HEARTS IN THE ICE	基調講演 CELEBRATING HOKKAIDO
0:00 ～1:00	8:00 ～9:00	分科会 ①観光体験を変革するデータの使い方 ②カーボンフリーな旅行の未来を実現するために ③公正で倫理的なストーリーテリング	グループ討論 テーマ“共生” ・ビジネスにおける共生の実践 ・国内旅行にスポットを当てる ・新しい旅行者の行動と期待	グループ討論 テーマ“共生” ・ビジネス回復のための連携について ・コミュニティツーリズムについて ・顧客にコロナ対応をどこまで求めるか	分科会 ①アウトドアギアの地域への影響 ②持続可能性への取組再考 ③価値観主導のビジネス
1:00 ～1:30	9:00 ～9:30	VIRTUAL JAPAN ADVENTURES #1 Eastern Hokkaido - The Wild Frontier	VIRTUAL JAPAN ADVENTURES #3 Southern Hokkaido	VIRTUAL JAPAN ADVENTURES #5 Akan Mashu National Park & Beyond	VIRTUAL JAPAN ADVENTURES #7 Mainland Japan & Mt. Fuji
1:30 ～2:00	9:30 ～10:00	VIRTUAL JAPAN ADVENTURES #2 Mainland Japan's Southern Islands	VIRTUAL JAPAN ADVENTURES #4 Daisetsuzan National Park	VIRTUAL JAPAN ADVENTURES #6 South & Central Hokkaido	VIRTUAL JAPAN ADVENTURES #8 Northern Hokkaido
2:00 ～3:00	10:00 ～11:00	基調講演 TOMORROW'S TRAVEL	基調講演 CHADO : THE WAY OF TEA	基調講演 ON THE ROAD OF CONSERVATION 映像上映 FOOD, EARTH, HAPPINESS	基調講演 SURVIVAL CLOSING
9:00 ～13:00	17:00 ～21:00	1日目 再放送	2日目 再放送	3日目 再放送	4日目 再放送
16:00 ～20:00	0:00 ～4:00		【10:00～12:00】 オンライン商談会#3	【17:00～19:00】 メディアコネクト#2	
21:00 ～23:00	5:00 ～7:00	オンライン商談会 #1			

3 ネットワーキング(オンライン商談会・メディアコネクト)

ATWSでは、参加者同士の交流も重要な要素です。オンライン商談会では、バイヤー／サプライヤー間でビジネス関係を構築する商談機会が、メディアコネクトでは、メディア関係者／参加事業者間で1対1の商談機会が設けられました。北海道からは、12事業者・団体がオンライン商談会に参加しました。

参加者区分	人数	日本
バイヤー	91	3
サプライヤー	66	32
イベント・パートナー	14	0
計	171	35



4 CELEBRATING HOKKAIDO

最終日には“CLEBRATING HOKKAIDO”と題し、日本と北海道が紹介され、鈴木北海道知事からは北海道が本州と異なる特有の生態系を持つ自然環境に恵まれた土地であり、様々なアクティビティのほか、食、アイヌ文化、縄文文化も体験できるAT適地であることから、AT受入のための環境整備を更に推進していくとのメッセージがありました。



5 北海道バーチャルラウンジ出展

開催期間中には、「北海道ラウンジ」を出展し、北海道内の20事業者・団体より47コンテンツを掲載しました。

■ラウンジ訪問者数 112人

バーチャルラウンジパナー



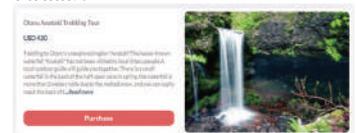
Hokkaido Lounge内部



動画紹介



商品紹介



6 VIRTUAL JAPAN ADVENTURE

VIRTUAL JAPAN ADVENTUREは、1本30分の動画で全8本中6本が北海道内、2本が北海道外のコースを紹介しています。北海道の自然の中でのアクティビティを交えながら、その地域の成り立ちや文化、人々の暮らしなどが紹介され、参加者の記憶に残るすばらしい印象を与えました。

#1 Eastern Hokkaido - The Wild Frontier (ひがし北海道)



PSA13 - 道東の三国立公園を巡るワイルド
ライフ探検ツアー7日間
PSA7 - 「地の果て・シリエトク(知床)」を
目指すサイクリングツアー
CTY-2 - 釧路市

#2 Mainland Japan' s Southern Islands (日本の南の島々)



K1 - 世界自然遺産の屋久島で黒見岳登山
とリバーアクティビティ
K2 - 阿蘇・高千穂で火山の息吹と自然の恵
みを体感する旅
S1 - 訪れるべき四国を代表する海と山と川
をEバイクで巡る旅

#3 Southern Hokkaido (道南)



PSA6 - 洞爺湖から日本海へ ~ガイド付
きサイクリングツアー
PSA12 - 火山が造った箱庭・大沼カヌーツ
ーリング~カヌー&農山漁村交流
PSA10 - 洞爺湖有珠山ジオパーク&黒松内
ローランド・アドベンチャー

#4 Daisetsuzan National Park (大雪山国立公園)



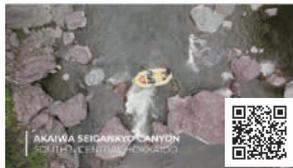
PSA9 - 大雪山周遊 ~ガイド付き登山ツ
アー
PSA15 - 大雪山国立公園唯一の自然湖「然
別湖カヤック&トレッキング」

#5 Akan Mashu National Park & Beyond (阿寒摩周国立公園)



PSA3 - マチネシトレッキング・ワイルド
サイクリング
PSA8 - 阿寒摩周国立公園ボルネー・ト
レイル
PSA2 - ザ ワイルドフライフィッシング イ
ン イースト北海道

#6 South & Central Hokkaido (道央・札幌)



PSA5 - 源流から海へ ラフティングとカ
ヌーで巡る水の循環エコツアー
PSA4 - 平取町“アイヌ”アドベンチャー
CTY1 - 札幌市

#7 Mainland Japan & Mt. Fuji (本州・富士山)



C2 - 静岡アドベンチャー ~日本のシンボル
を肌で感じる旅~
T1 - 東北の東西食の巡礼:歩く・食べる・出
会う旅
N1 - 江戸時代へ続く道 ~中山道と信仰
の道~ 長野編

#8 Northern Hokkaido (道北)



PSA1 - 日本最北の地を目指して 上川・
宗谷 カヌーとサイクリング
PSA11 - 女性による女性のためのSDGs文
化交流体験~下川・西興部・滝上~
PSA14 - 日本最北シーカヤックアドベン
チャー ~ガイド付きツアー5日間

主催者 (ATTA) からのコメント

- ・8本の動画は北海道側の努力の結晶。評価が高い。各コンテンツも高評価。
- ・再度見たいというリクエストも多く寄せられている。
- ・動画は参加者に良いインパクトを与えることができた。

- ・動画を見て北海道に行くのが待ちきれないという言葉も届いている。
- ・動画が素晴らしいので、今後のプロモーションとしてATTAも使っていきたい。

北海道観光振興機構 事業活動報告

令和3年10月~11月

※各部で展開している事業の一例をご報告いたします。

総務部

11月5日に第2回正副会長会、11月19日に第4回理事会をそれぞれ開催

当機構の次年度(令和4年度)事業の方向性等について検討するため、10月25日に事業検討部会を開催。道内各地域や観光関係団体の委員の方々に出席いただき様々な意見を聴取。11月5日には正副会長会、19日には理事会を開催し、今年度事業の進捗報告や、次年度事業の要望内容等の審議が実施されました。新型コロナウイルスの影響で年度当初より書面での開催が続きましたが、今回、実開催となりました。会議の席上では、9月下旬に開催されたアドベンチャートラベルワールドサミット・バーチャル北海道の実施報告などが行われました。



理事会の様子

広域観光部

新たな旅のスタイル事業・ 上川エリア視察ツアーを実施

10月26日より3日間、海外に商品提供している旅行会社(4名)を招請。新たな旅のスタイルを想定した、上川エリアの滞在コンテンツを視察するとともに、地元事業者との商談会を行いました。移動にキャンピングカーを使用するなど、従来の旅行形態にはない新しい旅のスタイルの提案をしました。



キャンプ体験の様子
(アサヒの丘キャンプ場・東川町)

地域観光部

世界文化遺産に登録された道内の 縄文遺跡群で実務研修会、視察会を実施

ユネスコの世界文化遺産に登録された「北東北・北海道の縄文遺跡群」についての知識を外国語ガイドの方々にしっかり研修していただくため、10月2日から構成資産となっている道内の各遺跡群を巡る実務研修会を開催。また、10月12日からは、エスコート型の旅行商品を造成・販売している旅行会社を対象に視察会を開催。道内外の11社20名の商品造成担当者などが参加し、地元のガイドの説明を受けるなどして、商品化に向けた検討がなされました。



北黄金貝塚での視察の様子

国内誘客部

他県連携相互送客事業 熊本県でプロモーションを実施

11月12日、熊本県(熊本市)で観光情報交換会を実施し、地元メディアや旅行会社等に対し道内の観光関係者から地域の観光素材の説明を行ったほか、事務局からは旅行商品造成支援制度などについての説明を行いました。翌13日からは、市内の商業施設でPRコーナーを設け、冬の北海道の魅力等を紹介しました。今回と同様の取り組みを、今後、広島県、福岡県、香川県、長野県などでも実施し、ローカルtoローカルの相互送客を図って参ります。



観光情報交換会の様子・熊本市

海外誘客部

ポストコロナに向け、 東京でMICE商談会を開催

当機構を含む道内の主要な自治体等が構成団体となる北海道MICE誘致推進協議会は、11月15日、東京都内で首都圏のMICE主催者や関連企業を対象とした商談会を開催しました。約2年ぶりの開催となりましたが、札幌市のほか道内の参加自治体と首都圏の関係者による商談会のほか、縄文文化に詳しい講師によるセミナーも開催され会場は大いに賑わいました。



北海道MICE商談会の様子

北海道観光振興機構 事業活動予定

令和4年1月～2月

国内誘客部

北海道ブロック記者発表会

日時:1月20日(木)13:00~16:40

場所:東京都・TKP赤坂駅カンファレンスセンターホール14A

内容:首都圏のマスコミと道内観光関係者(会員)の意見交換会(地域の観光素材説明)

マーケティング部

マーケティングサポート~専門アドバイザー派遣事業

期間:12月中旬~2月末迄実施(※専門家の選定、日程については要調整)

内容:市町村(観光課)、DMO、観光協会等の要望に対し、シンクタンク等の専門家(アドバイザー)を派遣。当機構職員も含めディスカッション等を通じて、現在抱えている課題等の解決に向けたソリューションメニューの提供を行います。

新規会員ご紹介

令和3年度

北海道観光レポートでは、新規の会員の皆様をご紹介して参ります。
今回は、幸楽輸送株式会社の不動産代表取締役社長にお話しをお伺いしました。

幸楽輸送株式会社

所在地：札幌市清田区清田1条1丁目
従業員数：162名



不動産代表取締役社長

■ 社業の沿革、体制について教えてください。

1969年(昭和44年)1月に、北海道コカ・コーラボトリング株式会社(以下、北海道コカ・コーラという。)と地場運輸会社の共同出資で設立しました。北海道コカ・コーラ札幌工場から出荷されるコカ・コーラ製品の輸送のほか、一般貨物、原材料の調達輸送にも力を入れており、毎日、20トントレーラーが100台以上、全道・全国を走っております。創業以来、半世紀以上にわたり、製品輸送の物流ノウハウを生かして、道内の地域経済の活性化に向けて取り組んでおります。



全道を駆け抜ける20トントレーラー

■ 現在、積極的に取り組んでおられる事業について教えてください。

設立当初は、往路は北海道コカ・コーラの製品を輸送し、復路は空瓶を回収するスキームで運行体制が組まれていました。近年、清涼飲料がペットボトルや缶で製品化される中、復路の積載率の向上が課題となり、積極的に地域からの農産物や食料品、日用雑貨、書籍、農業資材、肥料などさまざまな製品の輸送も行っております。北海道コカ・コーラグループは「北の大地とともに」をコンセプトに、事業活動を通じて地域発展に寄与することをミッションにしております。



現在建設中の新社屋

■ 北海道の「食と観光」において具体的な関わりについて教えてください。

静岡県掛川市にある合同会社互産互生機構との関わりで、「互産互生」(互いの地域にあるモノ・コトの「地産地消」を基軸とした地域間交流)の活動に参画しています。

十勝地方と静岡県は、明治時代の北海道開拓の時代より地縁がある関係で様々な交流が行われています。北海道側の交流の窓口となっている北海道シーニックバイウエイ支援センターとも連携し、静岡県から訪れるサイクルツアーの自転車輸送(新千歳空港～豊頃町間)のお手伝いや、互産互生の特産品輸送などにも積極的に関わっています。

今回、この活動がご縁で静岡県浜松市に本社を構え、県内や東京都、神奈川県に店舗を構える総菜・弁当の製造販売会社への、根菜類を中心とした道産農産物の輸送も行っています。

■ 今後の展望についてお聞かせください。

北海道は今後、少子高齢化により人口減少が加速化するのに伴い輸送量も減少していきます。一方で、北海道に観光客がたくさん訪れることで、地域での交流により経済活動が活性化していきます。当社はこれまで培ってきた安全で安心な食品輸送品質と、輸送システムの変革により環境に配慮した形で、北海道経済の発展に貢献してまいります。

2011年3月に発生した東日本大震災から10年以上が経過した。当時は節電による働き方の見直しで、まとまった有給休暇の取得が叫ばれた。当機構も滞在型観光を推進させるため、2012年の夏(7～9月)に全道32地域で、同じ宿泊施設に5連泊し地元の住民との交流や様々な体験、周辺の日帰り(拠点周遊)観光の行動履歴をアンケート方式で回答してもらう『北海道長期滞在モニター』を、道外から合計1,000名募り実施した。モニター参加者に一律3万円のキャッシュバック(※子供は半額)というインパクトと、全国紙で紹介された効果もあり、募集開始とともに全ての地域で瞬く間に定員に達し事業はスタートした。(※最終的には984名がモニターに参加しアンケートに回答)

32地域の受入担当者には、事前に地元で楽しめる体験プランや飲食店での特典などを検討してもらい、コンシェルジュとしてモニター参加者が宿泊施設にチェックインする際にガイダンスを行ってもらった。モニター終了後、アンケート内容を32地域ごとに集計・分析を図り、調査結果を地域の戦略に役立ててもらうためフィードバックを行った。

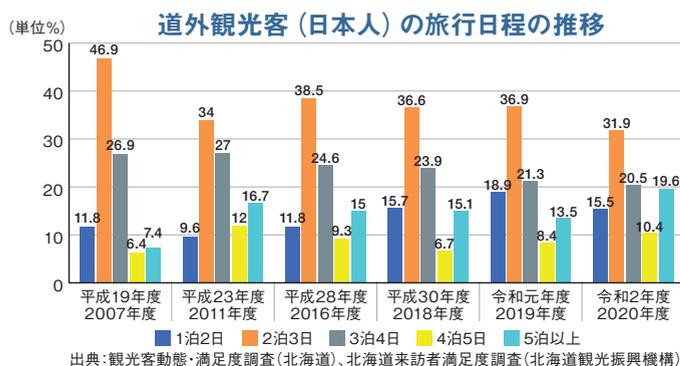
調査結果によると、宿泊施設での食事の献立や洗濯の問題などで課題や改善点はあったものの、概ね、各地域とも滞在中の地域側の対応やその地域の魅力について高評価を得た。

これより前の2007年頃より、北海道庁が推進していた団塊世代をターゲットにした『ちょっと暮らし(体験移住)』が少しずつ普及し始め、釧路市やニセコエリアなどで夏季を中心に『避暑目的』の長期滞在者が多く訪れていた。『長期滞在モニター』ではこの2地域以外にも、鶴居村が推進する「暮らすような旅(農泊)」や、中標津町のように摩周湖や知床方面へ観光する拠点としての機能を有する地域の評価も高かった。地域の素材発掘・磨き上げをするなどして、『周遊観光』から『滞在型観光(拠点周遊観光)』へ政策をシフトさせるきっかけとなった。

昨年、2020年新語・流行語大賞でノミネートされた「テレワーク/ワーケーション」は新型コロナウイルスの感染拡大で一気に定着したが、政府は2014年頃より和歌山県(田辺市、白浜町)で、都市と地域の交流による地域での関係人口の創出、ローカルイノベーションの創出を図る目的でワーケーションを活用した地方創生研修が実施され、その後全国に拡大して行った。北海道庁も2019年から「北海道型ワーケーション」を推進させ、地域の活性化に結びつけるため、道内の市町村と連携し企業等へのアプローチを進めている。

当機構も、今年度から本格的にワーケーションの受入を積極的に推進する25地域の自治体や観光団体に対し支援を行っている。南富良野町の「キャンプワーケーション」や、富良野市の「親子ワーケーション」、企業立地を目的とした美瑛市の「サテライトオフィス型」など地域の特性に応じたスタイルで体制づくりに取り組んでいる。なかには、企業等に会費を払ってもらい、空き家の改修(リノベーション)に参画し、地元の住民と交流を図るような興味深いプログラムもある。(美深町・事業者負担型ワーケーション)

本年6月に政府が発表した「骨太の方針」の中で、「ゼロカーボン北海道」(※北海道における2050年カーボンニュートラルに向けた取組)が盛り込まれ、その実現に向けた動きが加速化する。多くの企業が脱炭素に向けた取組で、今後、地方との結びつきが必要となる。コロナによる行動変容を社会変革の好機と捉え、様々な分野の専門人材と交流を図り、地域課題解決型のワーケーションを推進するなど、地域振興のDX(デジタルトランスフォーメーション)に協働で取り組んでみてはどうか。



2012年に実施した北海道長期滞在モニターのチラシ



空き家のリノベーションの様子(美深町)

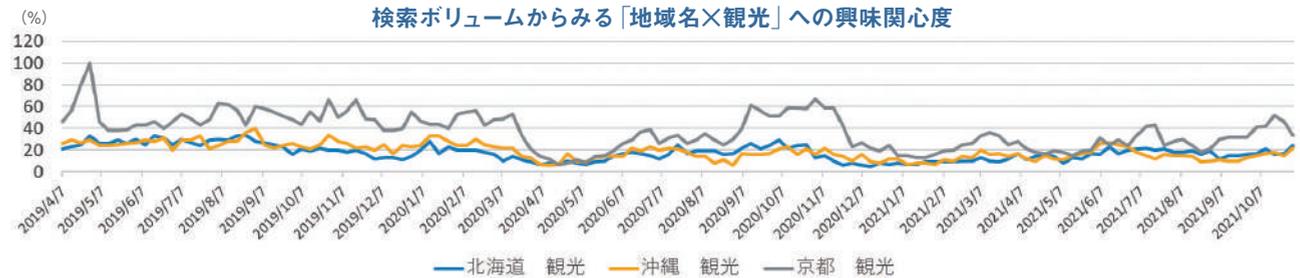
検索行動、北海道観光公式サイトGoodDay北海道の利用からみる観光への興味関心

■ 検索ボリュームから見るユーザーの「北海道 観光」への興味関心度

▶ 検索からみる関心度

「北海道×観光」の月間推定検索ボリュームは京都の約3分の1程度である。(2021年9～11月平均)

Googleトレンドから見る検索ボリュームの推移では、コロナの感染状況の落ち着きと比例し、9月中旬以降、北海道・京都・沖縄ともに、検索ボリュームが増加しており、北海道と沖縄の検索ボリュームは10月末現在、同ボリュームとなっている。各県の検索ボリュームの増加傾向からも一般消費者の旅への関心が高まっていると言える。



出典:Googleトレンド集計対象期間 2019/4/1～2021/10/31

■ ウェブサイト「Good Day 北海道」(日本語)の閲覧ユーザー情報から見る北海道に興味のある年齢層や地域

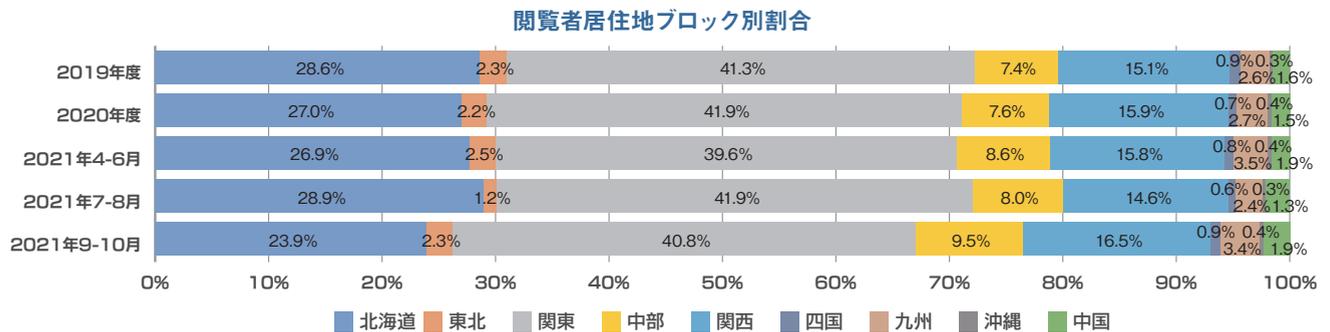
▶ 9～10月の閲覧地域の傾向

○9～10月の当機構ウェブサイト利用者の約76%が道外、道内が約24%。

道内からの閲覧が対7-8月期と比較し5ポイント減少。本州からの閲覧が7-8月期約70%に対し、76%と6ポイント増加した。

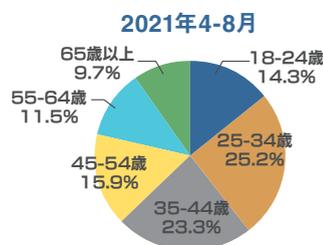
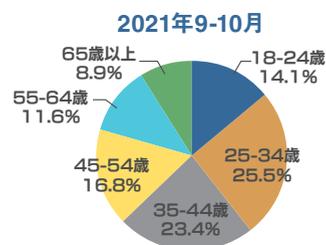
○閲覧数は9月末の緊急事態宣言解除を受けて9月下旬より増加傾向にある。

○閲覧地域ブロック別シェアでは、関東のシェアは微減。一方、中部9.5%、関西16.5%と増加した。



▶ 閲覧地域の都道府県別トップ10

居住地	4-6月	7-8月	9-10月	対7-8月比	居住地	4-6月	7-8月	9-10月	対7-8月比
北海道	27%	29%	24%	-5ポイント	埼玉	3.5%	3.2%	3.5%	0.3ポイント
東京	17%	20%	19%	-1ポイント	千葉	2.5%	2.6%	2.9%	0.3ポイント
神奈川	15%	15%	14%	-1ポイント	兵庫	2.2%	2.1%	2.3%	0.2ポイント
大阪	10%	10%	11%	1ポイント	福岡	1.9%	1.5%	2.2%	0.7ポイント
愛知	4.80%	5%	5%	変動なし	京都	1.4%	1.3%	1.4%	0.1ポイント



▶ 訪問者の年代

25～44歳で約半数を占め、4-8月期と比較し、利用者の年代の傾向に大きな変動はない。

SNS「Good Day 北海道」(日本語・英語・繁体字)の投稿情報(9~10月) から見る旅行先の興味・関心、情報収集へとつながるスポット

日本語

対象アカウント Instagram
@good_dayhokkaido



英語・繁体字

対象アカウント Facebook
https://www.facebook.com/visithokkaido.en
https://www.facebook.com/visithokkaido.tw



いいね数が多いコンテンツ (広告なし)				記事保存数が多いコンテンツ (広告なし)			
コンテンツ	リーチ数	いいね数	記事保存数	コンテンツ	リーチ数	いいね数	記事保存数
1 斜里 天に続く道	109,516	7,969	257	1 斜里 天に続く道	109,516	7,969	257
2 札幌 平岡樹芸センター	71,989	7,194	249	2 札幌 平岡樹芸センター	71,989	7,194	249
3 函館八幡坂	99,255	5,288	193	3 函館八幡坂	99,255	5,288	193
4 札幌 北3条広場からみた赤れんが行幸	77,698	5,108	165	4 札幌 北3条広場からみた赤れんが行幸	77,698	5,108	165
5 美瑛 秋のバッチワークの丘	32,730	4,230	94	5 美瑛 秋のバッチワークの丘	32,730	4,230	94

英語:リーチ数が多いコンテンツ				繁体字:リーチ数が多いコンテンツ			
コンテンツ	リーチ数	いいね数	シェア数	コンテンツ	リーチ数	いいね数	シェア数
1 秋の青い池(紅葉)	331,999	4,903	261	1 北大イチョウ並木	911,743	33,552	1,180
2 天に続く道(動画)	190,113 74,969 ※動画再生数	1,485	220	2 大通公園の紅葉(札幌テレビ塔からの眺望)	458,537	13,574	570
3 層雲峡紅葉	160,312	2,393	105	3 定山渓二見吊橋紅葉	388,784	11,958	374
4 豊似湖(紅葉と雪)	147,099	4,821	176	4 旭岳紅葉	241,845	7,466	256
5 道東秋の絶景	122,497	2,125	83	5 秋の四季彩の丘(紅葉と雪山)	207,059	7,071	405

SNSの投稿から見る傾向

- ▷フォロワーの属性(上位5地域)
21%が札幌。次いで横浜、旭川、帯広、函館。
- ▷ドライブは人気が高く、道内の一度は訪れてみたい絶景ロードを複数紹介。なかでも「天に続く道」の人气が高く、関心を高めたスポットである。
- ▷訪問者の多い人気観光地(函館、美瑛)などは、秋の風景など訪問時期とは異なる景色への反応が良い。

集計対象期間: 2021/9/1~2021/10/31

SNSの投稿から見る傾向

- 英語
▷多くリーチした国(上位5か国)
マレーシア、アメリカ、シンガポール、オーストラリア、タイ
- ▷「秋の青い池」(美瑛町)、「天に続く道」(斜里町)、「豊似湖」(えりも町)などの絶景には反応が良い。
- 繁体字
▷全般的に紅葉の景色は人気が高い。
▷台湾の方など、過去に北海道を訪れたことがある方が多いためか、「懐かしい!」、「また行きたい!」、「北海道が恋しい!」等のコメントが多くみられた。

キュンちゃんの小部屋



北海道の観光案内所



「どさんこ旅サロン」は、「北海道どさんこプラザ」(北海道のアンテナショップ)がある、東京交通会館の3階(札幌市東京事務所内)にございます。(JR有楽町駅下車すぐ)
道内各地のパンフレットを取り揃えているほか、スタッフによる観光・イベント情報の案内や旅行相談も承っています。

住所/東京都千代田区有楽町2丁目10-1
東京交通会館3階
営業時間/11:00~19:00
定休日/土・日・祝、年末年始、施設の全館休業日
問合せ/電話03-6206-3163



JR札幌駅の「北海道さっぽろ食と観光情報館」内にあり、専門のスタッフが日本語以外に、英語、中国語、韓国語で旅行相談に応じ、最新の観光情報を提供致します。また、観光機構作成のパンフレットのほか、会員施設のパンフレットが各種陳列されています。

住所/札幌市北区北6条西4丁目JR札幌駅西コンコース北口 北海道さっぽろ「食と観光」情報館内
営業時間/10:00~17:30 定休日/年中無休
問合せ/電話011-213-5088
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、観光案内窓口を休止する場合がございます。ご利用時は電話にてご確認ください。



北海道観光振興機構
LINE公式アカウント
北海道の旬な情報はこちらから! お友達登録が7万人を突破 (※令和3年11月下旬現在)
キュンちゃんが道内各地を紹介中!!

会員募集中! 入会申込みの詳細は、お問い合わせください。
GoodDay北海道WEBサイト内
『北海道観光振興について』
https://www.visit-hokkaido.jp/company/recruitment/

■本レポートに関するお問い合わせ先
公益社団法人北海道観光振興機構 政策室
〒060-0003
札幌市中央区北3条西7丁目1番1 緑苑ビル1階
TEL 011-231-0941 FAX 011-232-5064

地域発展の源は、「旅行」にあり！

地域の資源を「旅行」にしませんか！

？ 次のような悩みや課題を抱えていませんか

- 観光資源の活かし方がわからない
- いま訪れている観光客のニーズに対応できていない
- 新規客が増えない。リピーターが増えない。滞在時間が伸びない
- 色々やってはいるものの効果が出ていない



地域の魅力的な素材を活かして**旅行商品**をつくり、
クラブツーリズムの**リソース**を活用して**地域振興**を一緒に進めませんか

旅行商品

趣味趣向に合わせた「テーマ性の高いツアー」が特長、属性、カテゴリー別の多彩な商品ラインナップ

会員顧客

会員数：700万人（旅行参加履歴のある当社保有顧客数）、旅の友配送顧客数・世帯数：400万人/250万世帯

イベント・催事運営

地域と連携としてイベントを企画し、旅行商品で誘客し、現地で地元の人たちと共におもてなしまで一気通貫で実施

魅力的な旅行商品が続々と!! さあ、次は皆さんの地域の出番です!

Hokkaido Lavender Bus
北海道ラベンダー便 北海道 薰衣草号
2019.6.28-8.3 ¥2,800~¥6,800
Sapporo⇄Furano⇄Sounkyo Sightseeing Bus

Route	Price
Sapporo - Asahikawa One-way	¥2,800
Sapporo - Asahikawa Round-trip	¥4,800
Sapporo - Furano One-way	¥3,800
Sapporo - Furano Round-trip	¥5,800
Sapporo - Sounkyo One-way	¥4,800
Sapporo - Sounkyo Round-trip	¥6,800

観光事業の重要テーマに積極的に取り組んでいます

ワーケーションとは?
ワーケーションとは、ワーキングと休暇を組み合わせた働き方。仕事と観光を同時に楽しむことができます。Goryu Cityでは、美しい自然環境と、新鮮な空気を満喫しながら、仕事も進められます。

ワーケーションで 紋別の絶景撮影を満喫

二次交通対策(札幌市~層雲峡)

- 観光周遊バスの企画提案・商品化



五稜郭星空ランタン(函館市)

- ナイトタイムエコノミーの創出
- 小規模分散型 with コロナ対策
- 史跡活用で高付加価値を創出



富良野ラベンダー早期貸切(上富良野町)

- 平均3,000名を誘客(2017-19年度)
- 時間外貸切でオーバーツーリズム対策
- アジア方面インバウンド誘客も

ワーケーション(紋別市)

- 趣味(写真撮影)をテーマに長期滞在

日本のへっぴり目指せ! 161番国鉄代行
北海道 秘境駅巡りと 稚内サイクリング2日間
79,800円

アドベンチャーツーリズム(稚内市)

- サイクリングツアーを商品化
- 地域の観光資源(サイクルバス)の活用

地域としてかかえる課題や悩みごとを、お気軽にご相談ください!

✉ chiiki.kyousou@club-t.com

☎ 03-5323-6965
(担当: 浜口、森田)

地域共創事業部
公式サイト

